



# くすのき



令和5年(2023年) 7月19日

文責:校長

## 朝顔の…

「朝顔の 紺の彼方の 月日かな(石田波郷)」,意味は「朝顔の花が咲き、その紺色を眺めていると、この花が咲くまでの長い月日のことを思い出すことよ」です。中庭では1年生がアサガオを育てています。2年生は夏野菜を、3年生はハウセンカをそれぞれ育てています。朝、あいさつに正門に立っていると、子どもたちがよく聞きにきます。「校長先生、今日はお水あげた方がいい?」「どれくらいあげた方がいい?」、「お昼から雨が降るって言ってたから、いつもの半分にしよう」「昨日、夜に雨が降っていたから、お昼休みに少しだけあげよう」等々。



志津小の子どもたちの中には、動植物が好きな子どもがたくさんいます。みんな花が咲き、実がなるのを楽しみにしています。その生長をタブレット PC で撮影し、観察記録もしています。物言わぬ花や実を、毎日一生懸命に育て、子どもたちなりの愛情や優しい気持ちが少しずつ芽生えていくようすが伺えました。生き物に対する思いやりは、人も同じです。毎日、水を与えるのと同様に、日頃から友だちやまわりの人にも、自分は何ができるだろうかと気付く人であってほしいと願います。夏休みも引き続き『一日一善』の気持ちを忘れず、元気に過ごしてほしいと思います。

いよいよ夏休みです。ご家庭や地域での予定など楽しみも多いと思いますが、安全にはくれぐれも気をつけてください。夏になると、熱中症になったり、海や川、琵琶湖やプールでの水難事故が増えます。「うちの子に限って」「これくらいは大丈夫」といった過信だけではないようにお願いします。天気の良い日の外出も、出来る限り暑い時間帯は避け、やむを得ずの外出時には、帽子の着用や、こまめな水分補給を心がけてください。そして、これらに留意しながら、夏休みにしかできない「ふれあい」を通して、素晴らしい思い出を作ってほしいと思います。



一つは、「地域とのふれあい」です。コロナ対応も第5類となり、人との出会いも増えることとします。家族、親戚や近所の方々とのふれあいを通して、まわりを笑顔にする心を育ててほしいと思います。

二つ目は、「自然や文化とのふれあい」です。志津地域には他所にはない豊かな自然や文化がたくさんあります。新しい体験を通して、心を豊かにしてほしいと思います。

三つ目は、「本とのふれあい」です。夏休みは自由に使える時間がたくさんありますが、テレビやゲームにふれる時間を計画的に決め、読書や調べ学習など、本とのふれあいからさまざまな見方、考え方を身につけてほしいと思います。

一学期も本校学校教育の推進に、保護者、地域の皆さまには多くのご理解とご協力をいただきました。心よりお礼申し上げます。引き続き、子どもたちが充実した夏休みを過ごせるよう、ご家庭や地域でのご協力をよろしくお願いいたします。

## 校舎増設について

これまでから本校の課題であった、学校施設における教室(特別教室含む)数の不足を解消するため、次年度(令和6年度)に向けて、学校校舎(仮設)を体育館横の駐車場に増設することになりました。この工事にもない、夏休み以降、本年度末まで駐車場がほぼ使えなくなり、保護者、地域の皆さまにはご迷惑をおかけします。職員も学校周辺の有志の方々のご厚意で自家用車を止めさせていただく事になりました。今後の対応や詳細については、市教育委員会からの通知でご確認ください。ご協力をよろしくお願いいたします。



pixta.jp - 16028946

(8月の予定)

8/10(木)~8/16(水) 学校閉庁日

8/28(月) 2学期始業式

※緊急時は警察、消防または市役所へご連絡ください。

8/30(水) 給食開始

